

外国人の人権

高三

私は外国人に対する差別について考えました。人間を外見的特徴や民族、国籍などに基づいて区分し、特定の人々に対して嫌がらせなどをすることです。

日本に入国する外国人は長期的に見て、増える傾向にあり、こうした中で言語や宗教、文化、習慣等の違いから様々な問題が発生しています。例えば、外国人であることを理由にアパートへの入居や公衆浴場での入浴を拒否されたり、理容店において、理容サービスの提供を拒否されたりするといった事案が生じているようです。

また「日本に居住している外国人に関し、現在のどのような人権問題が起きていると思うか」という世論調査の結果で「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」が一番多かった一方で、「特にない・分からない」といった回答も多くありました。この結果を見て私は、そもそも日本人は外国人の人権問題に対して特に興味関心がないのだと

思いました。自分では差別しているつもりがなくても、差別と受け取り、深く傷ついている外国人は少なくないと思います。

私自身も、外国人に対して、少し怖いという印象をもってしまふことがありました。アルバイトで外国人のお客様と接する機会がよくあるのですが、体格などの見た目で判断して、接客を怖がってしまったり、コミュニケーションをどのようにとっていいのか分からなくなってしまったりすることがありました。このようなことも、外国人の立場からすれば、嫌な思いをしているのではないかと思ひ、気を付けるようにしました。

私には、複数の言語を話すことができる兄がいます。兄はスペインに留学していたこともあり、海外に行くことが大好きです。様々な国に足を運び、そこで出会った外国人の友達がたくさんいます。日本にいるときもよく電話をしたり、手紙を送り合ったりと、とても仲がよいです。そんな兄の友達が日本に来たとき、私の家に何週間か泊まったことがありました。最初はとても抵抗がありました。兄を通じて様々な話をするうちに、その人のことがよく分かるようになり、一緒にご

飯を食べたり、お互いの文化や風習を教えたり、教えてもらったりして、楽しい時間を過ごすことができました。

言語や文化の壁があっても、お互いに知ろうと思ったり、いろいろなことを共有したりすれば、そんな壁は関係ないのだと思いました。今では、違う国の出身で、年齢も違った外国人が毎年泊まりに来ていますが、全員に共通することは、日本がとても好きだということです。私は「よさこい踊り」を習っているのですが、外国人に見せると喜んでくれます。こういった日本の文化を伝えていくことも大切だと強く実感しました。

私はそれ以来、外国人が大好きになりました。だから、外国人を差別したり、見た目だけでいじめたり嫌がらせをしている人がいると思うと心が痛いのです。どうしたらこのようなことがなくなるのか、どうしたら外国人が安心して気持ちよく日本で暮らせるのかを考えました。日本に観光に来る外国人や、日本で働き、日本に住んでいる外国人はみんな日本が好きだと思います。日本の文化や風習に興味や関心があるのだと思います。そこで私たちが日本人が差別をするのはおかしいことで

す。外国人がもっと日本を好きになってくれるように、日本人らしい「おもてなし」の心や思いやりをもって接するべきだと考えます。

二〇二〇年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。きっと、日本に多くの外国人が訪れると思います。そのときに、私たち日本人が日本はすばらしい国だということを外国人に伝えるべきだと思います。そして、みんな同じ人間である以上、見た目や国籍で判断せず、互いに尊重し合っていけたらよいと思います。